



あしだ



www.edu.city.fukuyama.hiroshima.jp/chu-ashida

2019年(令和元年)

12月10日

中学校だより No. 13

発行責任者: 鍋島 義治

校区クリーン大作戦

11月13日(水)に各部活動の生徒が芦田中の通学路を中心とした地域のゴミ拾いを行いました。名付けて「校区クリーン大作戦」です。

この活動は部活動ごとに登下校の際にお世話になっている校区(通学路周辺が中心)の分担をして、道路沿いや川そばのゴミや空き缶などを拾って、きれいに掃除をして行く活動です。昨年度に引き続いての活動になります。1, 2年生の部活動のメンバーで協力して火ばさみなどを使ってゴミ拾いをして校区をきれいにしていきます。

最初は、とまどいもありましたが、慣れてくると協力してゴミをたくさん拾うことができました。協力することの大切さを知った活動でした。

第2回「感謝の花」プロジェクト



11月14日(木)の放課後、第2回「感謝の花」プロジェクトのための花壇ボランティアを行いました。先日の保健委員会で第1回の時、花壇やプランターに植えた草花の枯れたものを取り去り、肥料を入れた土を加えて、耕して感謝の花を植える準備をしていきました。

1年生~3年生まで28名が参加し、上の写真のように土の入った花壇やプランターに、新しい花の苗を植えました。「感謝の花」プロジェクトは、地域のお世話になった方々や施設に学校で育てた花を贈る取組です。芦田中学校では毎年、福山市立動物園に育てた花を贈ってきました。今年は、7月に1回目の贈呈を行っているのですが、12月の2回目の贈呈に向けて花を植えました。寒さが厳しくなっていますが、丁寧に心を込めて、1本、1本植えていました。花壇ボランティアに参加した人の地域の人への感謝の気持ちが伝わる活動になりました。参加した皆さんありがとうございました。

花壇ボランティアで花壇に植えて育てた花を先日12月2日(月)に第2回「感謝の花」プロジェクトとして福山市立動物園に贈呈しました。色鮮やかな花を植えたプランターを職員の方に渡しました。プランターを運んで贈呈式で渡してくれたのは、生徒会執行部の榎本さん、船江さんです。お世話になった方々への気持ちを「感謝の花」と一緒にしっかりと渡してくれました。ありがとうございました。

ドームランド花植えボランティア活動

11月30日(土)に福山市立動物園のそばの富谷ドームランドの花植えのボランティア活動があり、芦田中学校から5名の生徒が参加しました。

このボランティア活動は事前に福田公民館の方から募集があり、案内のプリントを配付したところ、申し込みがありました。期末試験が終わったばかりの時期でもあり、部活動の合間をぬって参加した人もいました。写真のように、一生懸命花の苗を植え付けていました。本当にありがとうございました。



芦田中学校では、ここに載せているように学校内や地域のボランティア活動に参加する人が徐々に増えてきています。

ボランティア活動では、「誰かの役にたいたい」「自分の力でどこまでできるかやってみよう」という積極的な自分自身の気持ちが大切です。そして、やり遂げることで一つ一つが今後の自信になってきます。

この調子で積極的にボランティア活動に参加していこう!!

生徒会執行部が決まりました。

11月21日(木)に次期生徒会の役員選出のための、立会演説会及び、選挙を行い生徒会執行部のメンバーが次のように決まりました。

3学期からは、2年生がリーダー、1年生が中堅学年として芦田中学校を引っ張って行くことになります。みんなが投票して決まったこの生徒会執行部のメンバーを中心に、より素晴らしい芦田中学校をめざして、全校生徒で取り組めるよう指導していきます。ご家庭でも励ましの声かけをお願いいたします



生徒会長	荒川 創太	学級委員会委員長 部活動委員会副委員長
生徒会副会長	木村 美咲	学級委員会副委員長 部活動委員会委員長
執行委員	内田 晴斗 潮崎 未来 石川 大地 田中 琉河 藤坂 美結 湯藤 弥英 山田 健太郎 木村 葵	生活委員副委員長 文化委員委員長 文化委員副委員長 生活委員委員長 整美委員委員長 保健委員委員長 保健委員副委員長 整美委員副委員長

※写真等は個人情報につき、ご配慮をお願いいたします。

みんながそろって高め合える学校に！

先日、全校で「いじめ防止標語」をつくりました。各学年でつくって提出されたもののうち、生徒会執行部が、その作品をピックアップしてくれました。

<< いじめ防止標語 !! >>

- にっこりと ほほえむ笑顔が 私を救う
- 届いてる？ あの子の心の声の叫び
- いじめによってうばってしまう 人の未来
- やめようよ あなたもほんとは分かるでしょ
- 目に見えない 心の傷に気づいてよ
- 認めよう 人の特徴 個性だと
- いじめても 何もいいこと ないんだよ
- きこえるかい 助けを求めるSOS
- 何事も 一人で悩まず 相談しよう
- 加害者も 同じ体験してみたら？
- 一人だけ そんな友達いませんか？

芦田中学校では、1学期から「みんなが、そろって勉強して、みんなで学校行事をやりとげ、一人ひとりが高まっていける」ことをめざして取り組んできましたが、残念ながら、学校生活の中で友達同士でのトラブルやいじめにあたる行為によって、教室に入れなくなったり、学校を休みがちになったりする生徒もあり、なかなかみんながそろっての学校行事にならない場合もありました。

人間関係のトラブルやいじめは、はっきりと分かるものばかりではなく、近くの人が気づかないで進んでしまう場合もあります。このようなことをなくしていくためには、一人ひとりが相手を理解して、思いやりの心を持って生活していくこと、人として相手に対してやってはいけないこと、許されないことを理解していることが大切です。

ここまで通信にも載せているように、2学期になってボランティア活動が活発に行われてきていますし、参加を申し出る人も増えてきています。「誰かの役に立ちたい」「困っている人を助けたい」という気持ちは尊いと思います。

また、学校の取組として11月中には、各学年で個人面談を行い、学校生活についてやクラスの友達のことなどについて今の気持ちや考えを聞いて生徒一人ひとりの心をつかんでいこう取り組んでいきました。そして、相手に対して温かい気持ちや思いやりの心を持って生活できるよう話をしています。

前述の「困っている人を助けたい」という気持ちが高まっている今なら、困っている友だちに声をかけたり、相談にのり、しんどい部分の思いを聞いてその友だちが元気が出せるよう励ますことができるのではないかと思います。そうした中で、その友だちがこれからの学級、学年、学校の行事に参加してお互いが成長することができたら、素晴らしいことです。2学期後半から3学期へ向けてこれらの取組を継続していきます。

在校生みんながそろってお互いを高め合い、成長できる学校にして行きましょう！！